

**製品名: PLC  $\gamma$ 1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21121**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:149kD;Observed MW:149kD

**抗原情報**

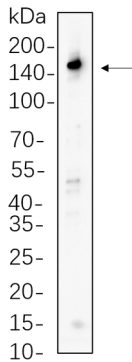
遺伝子名	PLCG1
別名	PLCG1;PLC1;1-phosphatidylinositol 4,5-bisphosphate phosphodiesterase gamma-1;PLC-148;Phosphoinositide phospholipase C-gamma-1;Phospholipase C-II;PLC-II;Phospholipase C-gamma-1;PLC-gamma-1
遺伝子 ID	5335.0
SwissProt ID	P19174
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

## 背景

細胞局在: 細胞質。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ホスファチジルイノシトール 4,5-ビスリン酸からイノシトール 1,4,5-トリスリン酸とジアシルグリセロールの形成を触媒する。この反応はカルシウムを補因子として利用し、受容体型チロシンキナーゼ活性化因子の細胞内伝達において重要な役割を果たす。例えば、SRCによって活性化されると、このタンパク質は Ras グアニンヌクレオチド交換因子 RasGRP1 をゴルジ体へ移行させ、そこで Ras を活性化する。また、このタンパク質はヘパリン結合増殖因子 1 (酸性線維芽細胞増殖因子) 活性化チロシンキナーゼの主要基質であることが示されている。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見出されている。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

## 画像データ



ラット脳細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを PLC  $\gamma$ 1 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットティングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。